

麻布幼稚園だより 7月号

平成27年6月30日 港区立麻布幼稚園 園長 大島 美知代

「保護者が一緒に楽しむ、そして学ぶ」

園長 大島 美知代

6月は不安定な天気でしたね。7月は夏本番となります。蒸し暑い毎日ですが、園児たちは元気に活動し、一緒にいる私たち教職員も元気もらっています。

6月は実習生を2名受け入れました。大学生の2名は園児の元気さ、前向きさ、柔軟さを肌で感じ、一緒に毎日過ごす楽しさ、教員としての責任の重さを感じたようです。私たちも後輩を育てる楽しさや相手に分かりやすく伝える難しさや伝わった嬉しさを感じることができました。実習生と3週間を一緒に過ごし、楽しみ、そして学んだ日々でした。

また、6月は園庭の自然に親しんだ月でした。梅に始まり、園児が育てている夏野菜の収穫と料理を楽しみました。目で見て楽しみ、手で触って楽しみ、鼻で匂って楽しみ、舌で味わって楽しみました。収穫した時、食べた時の何とも言えない嬉しそうな、満足そうな表情が園児に見えました。私たちはこれからも園児に豊かな体験をさせ、豊かな表現力や感性を育てていきたいと思いました。

6月は園児だけではなく、保護者の皆様にもたくさんご協力をいただき、園児と一緒に楽しんでいただきました。中旬の『親子で遊ぼう会』では、親子で製作活動に参加してもらいました。特に年長児は忍者ごっこにつながるよう、保護者と一緒に衣装などを製作しました。次の週にもその衣装を身に付け、嬉しそうに遊んでいる姿が見られました。

この日、保護者にも園庭の梅のジャムを味わっていただいたり、保護者同士で交流したりする活動も行いました。同じ園で幼児を育てる親同士が顔見知りになり、学級の枠を超えて園児のために園と一緒に何かできないか、と考えています。保護者の皆様からこの件に関してのご提案がありましたらいつでもお寄せください。

また、今月行う「あざぶっ子まつり」の準備に何度も力と時間をいただき、「お母さんパワー」を感じています。園児や地域の子どもたちが夏の遊びを楽しみ、本園の良さや幼児教育の大切さを感じていただきたいと思います。

そして6月下旬からプール指導が始まりました。園児たちが健康で安全に水に触れているいろいろな動きや遊びに挑戦したり、工夫したりするなど、様々なことを楽しみながら体験させたいと思います。

幼児期は「遊び」が大切です。「遊び」とは「楽しい」ものです。「好きなこと」を繰り返しながら、考えたり、もっと楽しくするために工夫したりします。仲間に入って「一緒に考えを合わせたり、考えを伝えたり」していきます。この「遊び」の中には手先を使うこと・体を動かすこと・繰り返し粘り強く取り組むこと・失敗してもあきらめないこと・人に伝えるため言葉を使って伝えること、相手と自分の考えの違いを知ること、など「生涯にわたる人間として生きる基礎」が「遊び」の中で培われます。就学して学習をすることの準備にもつながります。

夏季休業中には、夏ならではの「幼児が楽しいと感じる体験」「我が子のペースで楽しめる体験」を「親子で一緒に」楽しんでください。我が子が何を楽しんでいるのか感じてください。9月には、一段とたくましくなった園児に会うのが楽しみにしています。